

市区町村名	広島県東広島市	担当部署	総務部危機管理課
		電話番号	082-420-0400
		所属メール	hgh200400@city.higashihiroshima.lg.jp

## 1 取組事例名

地元企業と連携したランニングストックの実施

## 2 取組期間

令和5年度～（継続中）

## 3 取組概要

災害用備蓄食としてのストックライスを協定先である永岡商事の保管場所で、4,000食分ランニングストックしています。

## 4 背景・目的

いつ発生するかわからない災害に備えて、備蓄計画に基づいた備蓄を進めていますが、期限切れによるフードロスや保管場所に限りがあることなど、課題が多数存在しました。これらの問題を解決することを目的として、地元企業である永岡商事株式会社と協定を締結し、ランニングストック方式による備蓄を開始しました。

## 5 取組の具体的内容

広島県地震被害想定調査の避難者数等の9,575人をベースとした、主食の備蓄必要数量である、約16,000食のうち約4,000食をランニングストック方式により備蓄し、必要な物資を確実に確保しています。ランニングストックは、購入した商品をそのまま業者の在庫の一部として業者が保管を行い、販売され更新されていく方式で、物資の保存期限や保管場所の問題を解決する、効率的な手段です。



## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

広島県内の市町村では初めての取組で、地元企業と連携し備蓄食が抱える課題解決に取り組みました。市場で流通しながら備蓄品の更新をしていくため、倉庫で死蔵することがなく、無駄なくストックできることが特徴です。また、通常の購入備蓄と異なり、低コストで備蓄できることや、市の備蓄倉庫に加え、企業の倉庫でストックできるため、市の備蓄量を増加できることが特徴として挙げられます。

## 7 取組の効果・費用

ランニングストックは、購入した商品をそのまま業者の在庫の一部として業者が保管を行い、販売され更新されていく方式で、物資の保存期限や保管場所の問題を解決する、効率的な手段である。フードロスの削減はもちろん、本市が抱えている保管場所が十分でないという問題も解決できる。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

アレルギーやハラル対応の備蓄食が別途で必要になるため、それらに関しては本市が保有している防災倉庫で備蓄している。

## 9 今後の予定・構想

ランニングストックでの備蓄と本市自身での備蓄バランスも大切になります。永岡商事とのランニングストックを継続しながら、新しい備蓄方法を探したり、既存の備蓄方法を改善する等の取組を行っていきます。

## 10 他団体へのアドバイス

備蓄におけるフードロスと保管場所の課題はどの自治体も抱えているものだと思います。それに加えて賞味期限の管理や食糧の入れ替えには、かなり職員の労力と時間を費やします。それらの管理を企業によって行ってもらうことで、別の防災業務にも専念することが可能になったり、余裕ができた倉庫スペースに別の必要な備蓄をそろえることができたりします。今ある課題を自治体自身で解決することはもちろんですが、地元企業と協力して行う方法も視野に入れることで、問題解決への近道になったり、地元企業の活性化につなげることができたりする可能性もあります。

## 11 取組について記載したホームページ